

6-1 1/4の指導計画

(1) 目標

- ・ 作品に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いを想像して「人物論」を書こうとする。

(2) 展開

過程	学習活動	教材資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 漫画「ドラえもん」の登場人物紹介の文章を読んで、なぜそのような紹介内容になるのか考える。 2 本時の目標を知る。	資料①	○漫画「ドラえもん」の登場人物紹介を配布し、これを手掛かりに、人物の特徴をどのような点に着目して捉えているのか考えさせる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 作品に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いを想像して「人物論」を書こう </div>
展開	3 漫画「ドラえもん」の登場人物について、根拠を明らかにして人柄や性格についてまとめるモデル学習をする。 [手順] 1) 記入例を手掛かりに、「人物論」の書き方の手順を見通す。 2) 「人物論」を書く登場人物を選ぶ。 3) 登場人物の特徴が分かる言動などから、その人柄や性格を考える。 4) 2～3名の作品を発表して交流する。 4 身に付けたい力と学習課題を知り、学習計画を確認する。 [学習課題] <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 扇の的の場面の登場人物について「人物論」を書くことを通して、根拠を明らかにして自分の考えをもったり書いたりする力を身に付けよう。 </div>	資料② ワークシート① 記入例 ワークシート① 学習計画表	○漫画「ドラえもん」から1話を取り上げて資料として配布し、学習に対する興味・関心を喚起する。 ○「主張」「根拠」「理由付け」という視点で人物論を書くことを知らせる。 ○根拠が同じでも、理由付けが違えば人物像の捉え方が違うことを、記入例で具体的に説明する。 ○いくつかの場面に注目させ、自分が書きやすい人物を選ばせる。 ○根拠が同じでも、理由付けが違えば人物像の捉え方が違うことを、発表された作品で確認する。 ○扇の的の場面の登場人物について「人物論」を書くことを確認する。 ○学習計画表の使い方を説明し、単元の学習の見通しをもたせる。 ○身に付けたい力が身に付いたと感じた時に、その感動と共に根拠を明らかにして最下段に記録することを説明する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> [関①] 作品に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いを想像して「人物論」を書こうとしている。 【ワークシート①】 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ワークシート①の記入例の根拠と理由付けと主張の部分に注目させ、理由付けに納得できるかどうか検討させたり、他の理由付けを考えさせたりする。 </div>

まとめ	5 授業を振り返って学習計画表に「学んだこと・感想」を記入する。 6 次時の見通しをもつ。	学習計画表	○「人物論」の書き方が分かったかどうかについて具体的に書かせる。 ○次時は登場人物の特徴が分かる表現からその人柄や性格を考えることを確認し、見通しをもたせる。	
-----	--	-------	--	--